

「読み切りペーパー かわら版 青森薬志」について

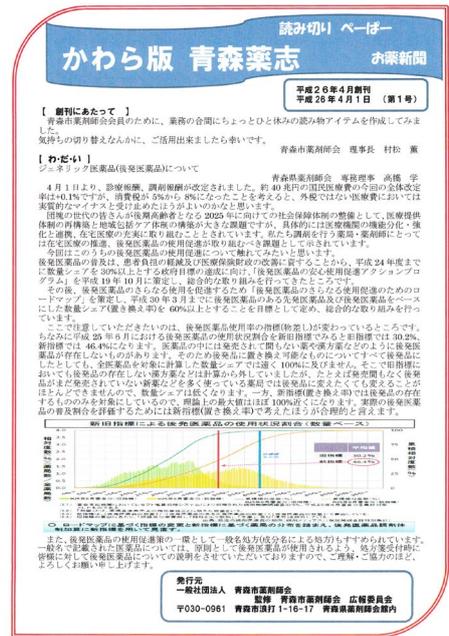
広報・情報委員会 川村 幸子

こんにちは。青森市薬剤師会の川村幸子と申します。
ようやく春めいてきました。今年は桜の開花も早いようです。感染症への対策も変化し、今年はお花見を楽しめそうですね。

さて、本会では 2014 年（平成 26 年）4 月より公益事業の一環として、お薬新聞「読み切りペーパー かわら版 青森薬志」を創刊し、青森市薬剤師会通信に同封しております。会員のみならず住民も対象として、本会からの様々な情報を発信し、「薬剤師」を身近に感じていただくことを目的とした事業です。因みに記念すべき第 1 号の話題は、「ジェネリック医薬品（後発医薬品）について」でした。

テーマは毎回多岐にわたっており、薬剤師本来のお薬の効能効果や薬剤師の職能、病気のお話以外にも、「花粉症」「食中毒」「うがい手洗い」などの季節に沿った話題や、本会主催である「ミニ身に健康イベント」をはじめとする各種イベント・女性薬剤師会・スポーツファーマシスト・学校薬剤師のご紹介、はたまた温泉やホタテ貝・美味しい水のお話など、様々なジャンルがあります。本会会員以外にも一般財団法人青森県薬剤師会食と水の検査センター（旧：衛生検査センター）の職員や青森大学の先生にもご執筆いただいております。

2022 年 7 月には第 100 号という節目を迎えることができました。これもひとえに、毎月発行している本会広報委員会の努力とご執筆くださる諸先生のご協力の賜物と、誠に感謝しております。今までのかわら版をバックナンバーとして何らかの形で後世に残していけるよう、ただ今計画中です。内容等ご興味がある方は、本会事務局までぜひご連絡ください。



記念すべき第一号